道徳参観日　４年「せいいっぱい生きる　―　命の詩　―」

　１０月２３日（金）に道徳科の時間に，「せいいっぱい生きる　―　命の詩　―」という教材を通して，命の大切さや，せいいっぱい生きることについて考えました。

　授業では，病気と向き合いながら命の大切さを伝えた宮越由貴奈さんや，命について考えるきっかけとなる盛田大介さんの生き方に触れながら，一人一人が自分の命や生き方について考えました。

　子どもたちは，命は決して当たり前にあるものではないことや，限りある命を大切にしながら生きることの意味について考えを深めました。また，自分自身の命だけでなく，家族や友達など，周りの人の命もかけがえのないものであることについて考えることができました。

　今回の学習を通して，子どもたちが自分の命を大切にし，今できることに一生懸命取り組むとともに，周りの人への思いやりをもち，一日一日を大切に過ごしていってほしいと思います。



